

2016 出展票 『エコが見える学校』

1. 出展者

チーム名	資源と環境の教育を考える会 『エコが見える学校』
出展法人	資源と環境の教育を考える会 『エコが見える学校』
実行責任者（リーダー）	海老原 誠治（三信化工株式会社）
責任者補佐（副リーダー）	新木 浩之（トーソー株式会社）
協力法人	トーソー株式会社、横浜国立大学 産業環境管理協会、三信化工株式会社

2. 出展内容

「体験」プログラム

<概要>

①ものの一生のすごろく：【資料1】

作る・使う・捨てる、身の回りの物の一生がすごろくになった！
ゴール早いとダメ、CO2 ポイントたまると負け、へんてこりんなルール。
作る・使う・捨てる、物の一生で、関わる CO2 をすごろくで考えよう。

・責任者 海老原誠治

・副責任者 新木浩之

・来場者へのメッセージ：

環境問題って難しい言葉がいっぱい、遠い世界のことみたい。
なるべく楽しく分かりやすくすることを考えてみました。
このすごろくでは、製品のつくる・つかう・すてるの 一生と、
みんなの生活が環境へどう影響するか、まわって遊びながら分かります。
どうすることが環境にやさしいかが、ゲームの結果になります。

・参加可能人数 2～8名

・対象年齢 小学生低学年以上

・所要時間 15分程度

②環境脱出ゲーム：【資料2】

- ・概要：地球温暖化から脱出するゲーム。

温暖化から脱出するまでに、身の回りの製品を実際に見て
「つくる」「つかう」「すてる」製品の一生から、
環境負荷＝CO2 排出量が減るポイントを探そう。

- ・責任者 新木浩之
- ・副責任者 海老原誠治
- ・来場者へのメッセージ：

ゲームとして、様々な製品の一生から、環境負荷の大きい製品・小さい
製品を考えて選び出します。

実際に買い物をするときに 環境ラベルをどのように見たらよいかを
学ぶ機会を設けます。

- ・参加可能人数 1名～
- ・対象年齢 小学生高学年以上
- ・所要時間 15分程度

③われたらばずる：【資料3】

おちゃわん割って、パズルにしよう。 どんな風に割れるかな？

触ってみても大丈夫？ どこが危ない？ どれだけ危ない？

破片を組み立てパズルにする。 元に戻るかな？

危険を事故にしないこと、掛け替えのないこと、直すこと・繕いを考えるよ。

- ・責任者 海老原誠治
- ・副責任者 新木浩之
- ・来場者へのメッセージ：

「パリーン!」「あぶない、近づかなで!」 割れた食器、身近な危険です。

ただ教えられたり暗記ではありません。

割れる瞬間から破片まで、実際に本当を体験・確認します。

元に戻れないことを考え、危険があっても事故にならないことを目指します。

「あぶない! 気をつけて片付けようね、次はもっと大切にしようね」

- ・参加可能人数 1～8名
- ・対象年齢 小学生低学年以上
- ・所要時間 20分程度

テーマ名	大切にすることって何だ？
対象とする学年	小学生
定員（1サイクル）	3～6名
所用時間（1サイクル）	20分程度
実施の日程と時間	会期中終日
人数制限の方法	先着順

【資料1】「ものの一生涯のすごろく」



【資料2】環境脱出ゲーム



【資料3】「われたらばずる」

